

1898



聯合 運動寫眞 十一月廿三日

◎早慶ラグビー戦

一二十五對五で早大勝つ

早慶ラグビー戦は二十三日午後二時半より神宮競技場に於いて開催。無風各種コンディション良好。戦は二十五對五で早大軍の勝となる。

寫眞は

- 一、前半三十四分頃 藤原ゴーク前ルーズ（上）
- 二、後半十七分頃 早大ラッシュ（下）

413



聯合 寫眞 第三號 七年十一月廿三日

◎宮殿下の御台臨を仰ぎ

↓日滿少年團の面い握手

二十三日朝入京した滿洲國童子團一行二十名の日本少年團との歡迎交驛會は同日午後二時から青山憲法紀念會で北白川宮殿下の御台臨の元に盛大に行はれた

寫眞は

日滿少年團代表の握手

Small decorative label with illegible text.



聯合 寫眞 第一號 七年十一月廿四日

◎名門揃ひの一行

1 滿洲國から留學生

執政府侍從武官及び將校養成のため我國へ派遣された滿洲國留學生一行は侍從武官工藤中將に引率され二十四日午前九時東京驛着列車で入京した。一行中には執政從弟溥佳、貴福氏令胤超、熙洽氏從弟等名門の出八名であるが家族從者等で却々の賑やかさであつた。一行は士官學校へ入學卒業后陸軍大學校へ入る豫定であると

寫眞は

一、東京驛着の一行（前列左から二人

目溥佳氏）

箱



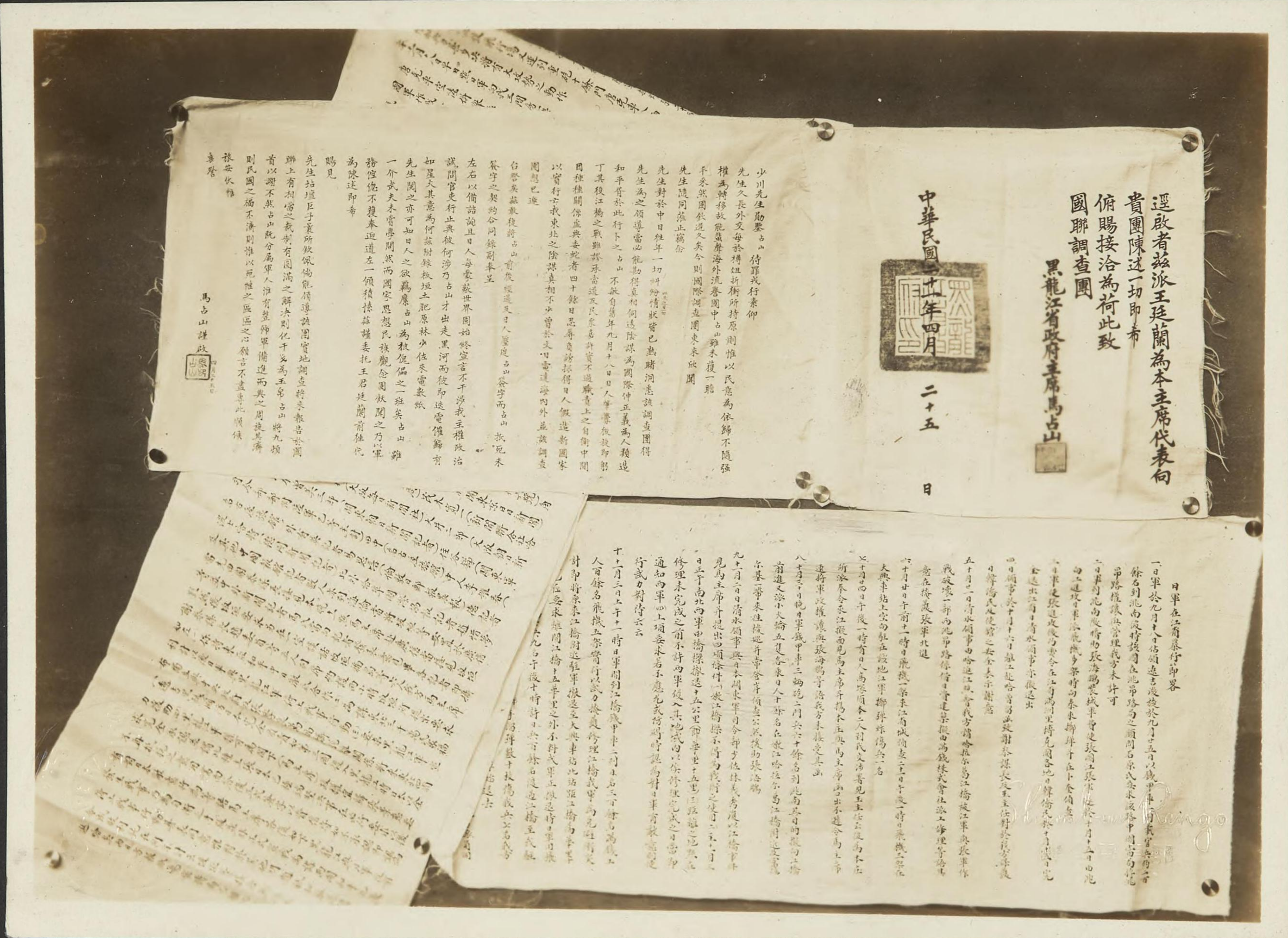
◎馬占山が調査團に呈出した密書

！噴飯に置するその内容

外務省カリットン報告に對する意見書中調査團が出所怪しき材料を基礎として同報告を調査した旨があるがこの馬占山調製の密書はその一例である、即ち馬占山は本年五月本密書を數通製作數便を渡して之を調査團に手交せんとした、その一密は使たる王廷蘭は之を遼行昂々溪に調査團を待受けて密に呈出せんとしたるを齊々哈爾濱兵隊の知る所となり家宅搜索の結果之を押收し該企圖は不成功に終つた然し別の一通は某國新聞記者に依り調査團の手に渡つた事は確實である、本書の内容は荒唐無稽噴飯に置するものであるがリットン報告中には之に基いて善さるげたと推定し得る個所も尠くない

寫眞は
一、調査團に呈出した馬の密書

Small decorative label on the left side of the book cover.



聯合 寫眞 七年十一月廿五日

◎ルーズヴェルト氏の大勝に終つた
米國大統領選舉

！今朝横濱入港のタフト號にて着便！

(ニューヨーク)發聯合(米國大統領選舉當
時の本社外電を參照して下さい)

寫眞は

一、故郷にて投票すべくサンフランシスコに到
着したフリーヴァー氏を出迎へのフリーヴァー
フアンの大群

二、當選確實と決定して大統領フリーヴァー氏か
ら贈られた祝辭電報を讀むルーズヴェルト
氏(左から)チエームス・A・フアトレイ
氏(民主黨全國委員長)ジェームス・ルー
ズヴェルト氏(令息)ルーズヴェルト氏、
同夫人

Small decorative label with illegible text and a red stamp.



フリーヴァー氏出迎の
フリーヴァー・ファンの大群



Small decorative label or stamp on the left edge of the album page.



聯合 鳥眞 第一—三號 七年十一月廿六日

◎海軍大學校卒業式行幸

一 新築なれる屋上より御展望一

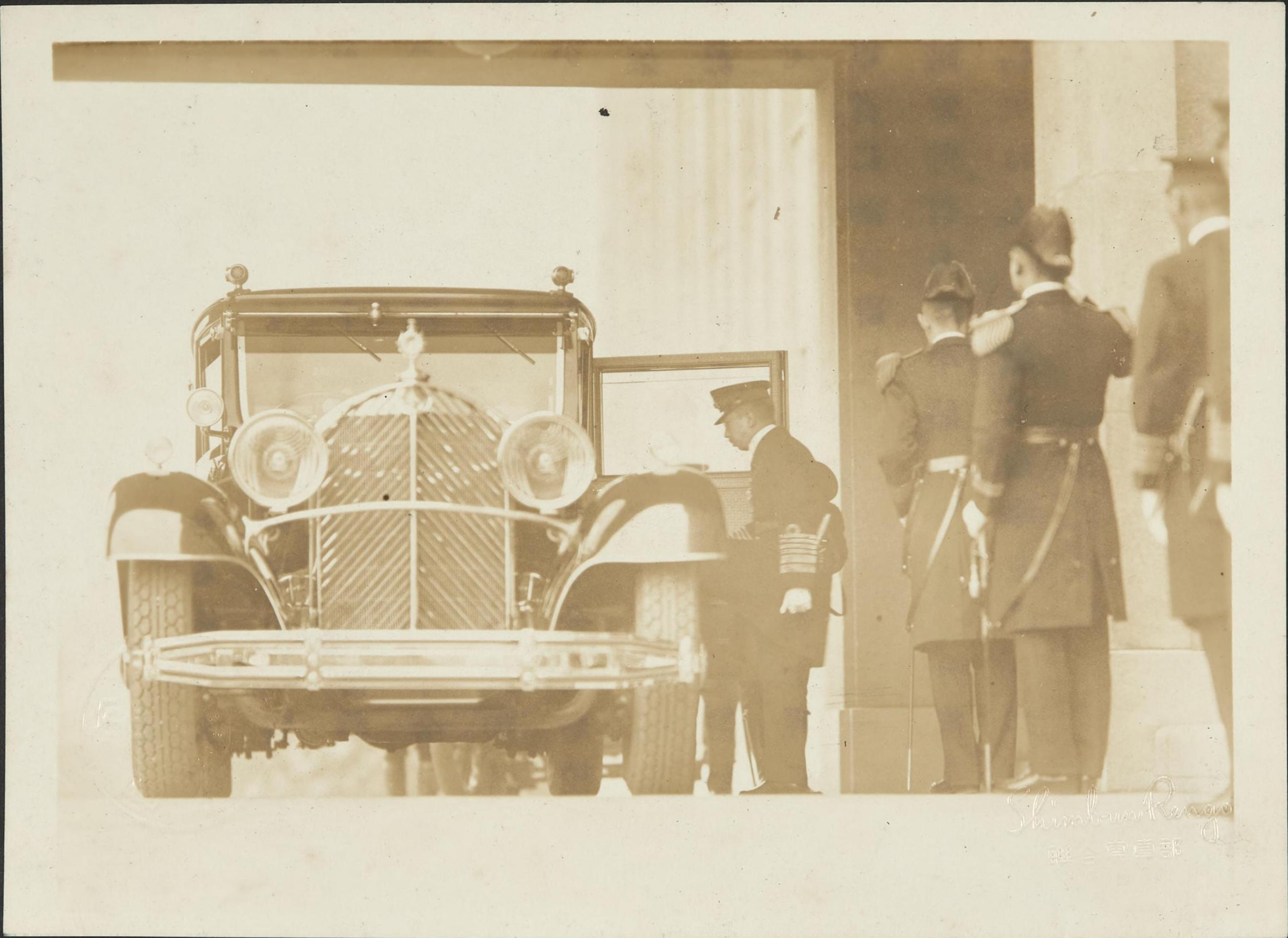
目黒區上大崎に新築落成せる海軍大學校では廿六日初の行幸を仰いで第三十六回卒業式を行つた、天皇陛下には海軍御通常禮裝に大勳位略章御佩用閑院元帥宮、伏見軍令部長宮、久邇宮朝融王各殿下、岡田海相、加藤校長その他の奉迎裡に午前九時三十分御着校、學生の作業等天覺御少憩の後、三階の卒業式場に臨御終つて校舎屋上に臨御附近一帯を御展望あらせられ十一時二十分諸員奉送裡に同校御發海軍省に御立寄り約三十名の首腦部に對して御陪食仰付られ午后一時十五分海軍省御發御機嫌美はしく宮城に還幸遊ばされた

鳥眞 第一—三號ノ二

鳥眞は

一 聖上海軍大學校行幸

Small decorative label with illegible text.



聯合 寫眞 第四號 七年十一月廿六日

◎人間萬事金の世の中

―幽靈船ヲ號二隻現はる

二億の金塊を廻るナヒモフ號引揚げにつき例の片岡弓八氏を援助する引揚後援會に對立して藤井代議士等を盟主とする別個の引揚會が現はれて茲に問題のナ號が二隻海底に現存すると云ふ奇觀を呈した兩者の言分は△藤井氏側は發見船體は對馬琴崎沖二湮八分深さ四十六尋の地點對馬海岸と並行に船首を突つこみ加減に横たはつてゐる（證據三點）△引揚後援會側は對馬茂木崎沖四湮九分五十尋の海底に四十度に傾斜して存在する（證據二點）

寫眞は

○印がナ號沈沒目標△印は藤井氏側×印は引

雜
5



Shimoda Bay
1893

聯合

烏真

第一號

七年十一月廿七日

◎滿洲國武官一行歸國

陸軍特別大演習陪觀後再度上京し軍事視察を
遂げた滿洲國軍政總長張景惠侍從武官長張海
壽兩氏以下一行は廿七日午前九時東京驛發列
車で歸國の途に上つたが驛頭には隨駐日代表
眞崎參謀次長本庄前滿洲軍司令官を始め文武
官日滿中央協會の人々等數百名の見送りあり
張總長は日本語で鄭重な感謝の挨拶を述べ一
行は歡喜に滿ちて西に向つた

烏真は

左より張景惠、張海壽二人置いて本庄前滿
洲軍司令官

雜
5



聯合 寫眞 第三號 十一月廿七日

◎滿洲國童子團に

「金時」人形を贈呈

「東京市小學校教員會から」

新興滿洲國の少年團を代表して訪日親善旅行の爲め滯京中の滿洲國童子團はその日本少年との親善交際の目的も大半果して二三日後には退京する豫定になつて居るが東京市小學校教員會では滿洲童子團今回の意義深き親善訪日旅行を記念する爲めに少年の意氣と健康を表徴する「金時」人形と「日本現」のシシボル太刀とを一行に贈呈することになつた。

寫眞は一行に贈呈される金時人形と太刀

雜
5



聯合 寫眞 第四一五號 十一月廿八日

◎兵制六十周年式

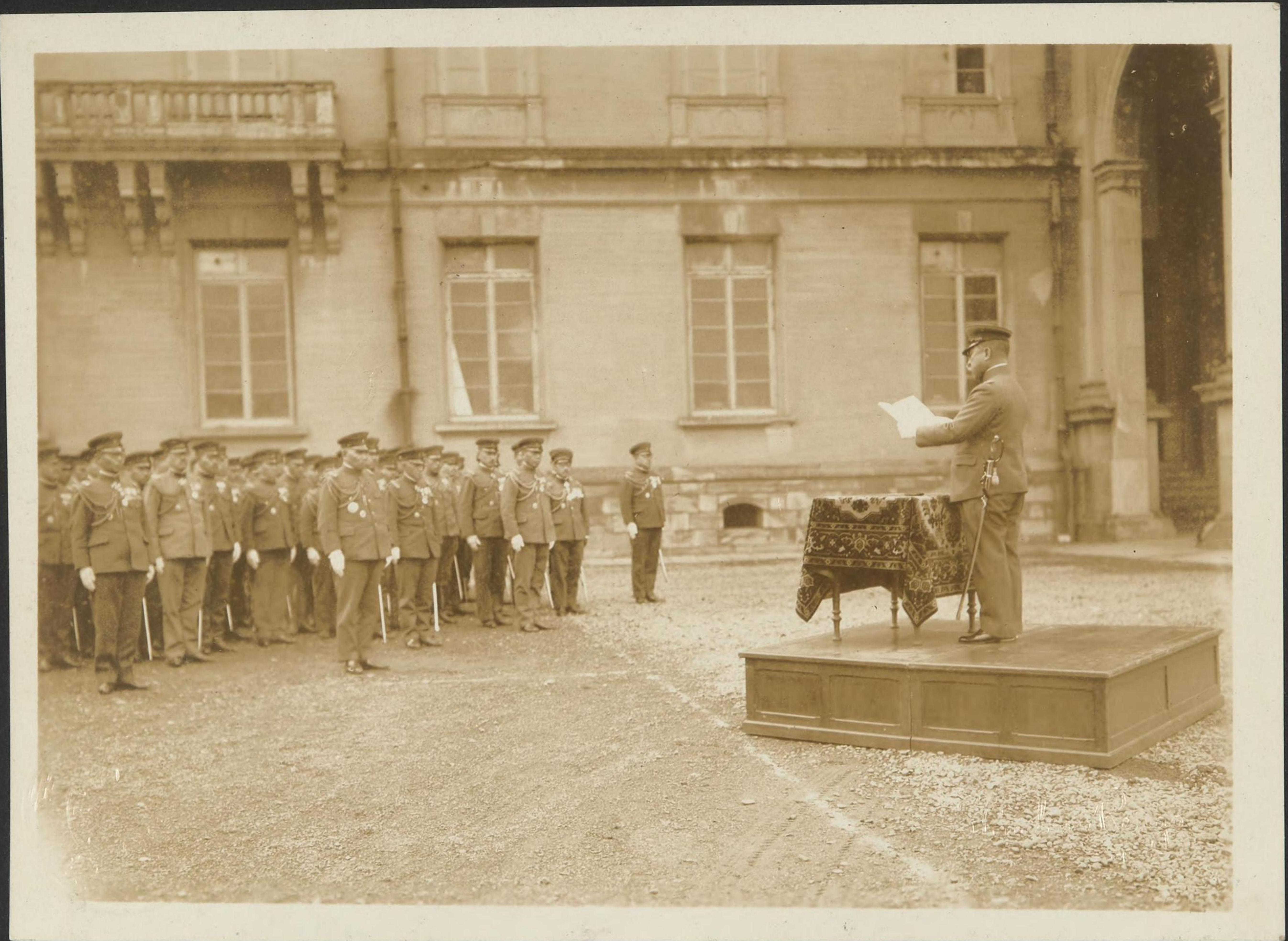
二十八日は兵制六十周年の記念日に當り軍事に對して大信心を注がせらるる聖上陛下には當日陸海軍に對し勅詔を御下賜遊ばされたので陸海軍大臣は當日宮中に參内、勅詔を拜受した後誓詞を奉つて御前を退下隨從官廳各部隊にその寫しを分ちそれぞれ捧讀式を舉行、尙當日は明治神宮、靖國神社前に陸海軍首腦部、在京各部隊代表、在郷軍人會代表その他朝野多數の名士參集盛大な奉告祭を行つた

寫眞は

一、勅語捧讀の閑院參謀總長官殿下（於參謀本部）

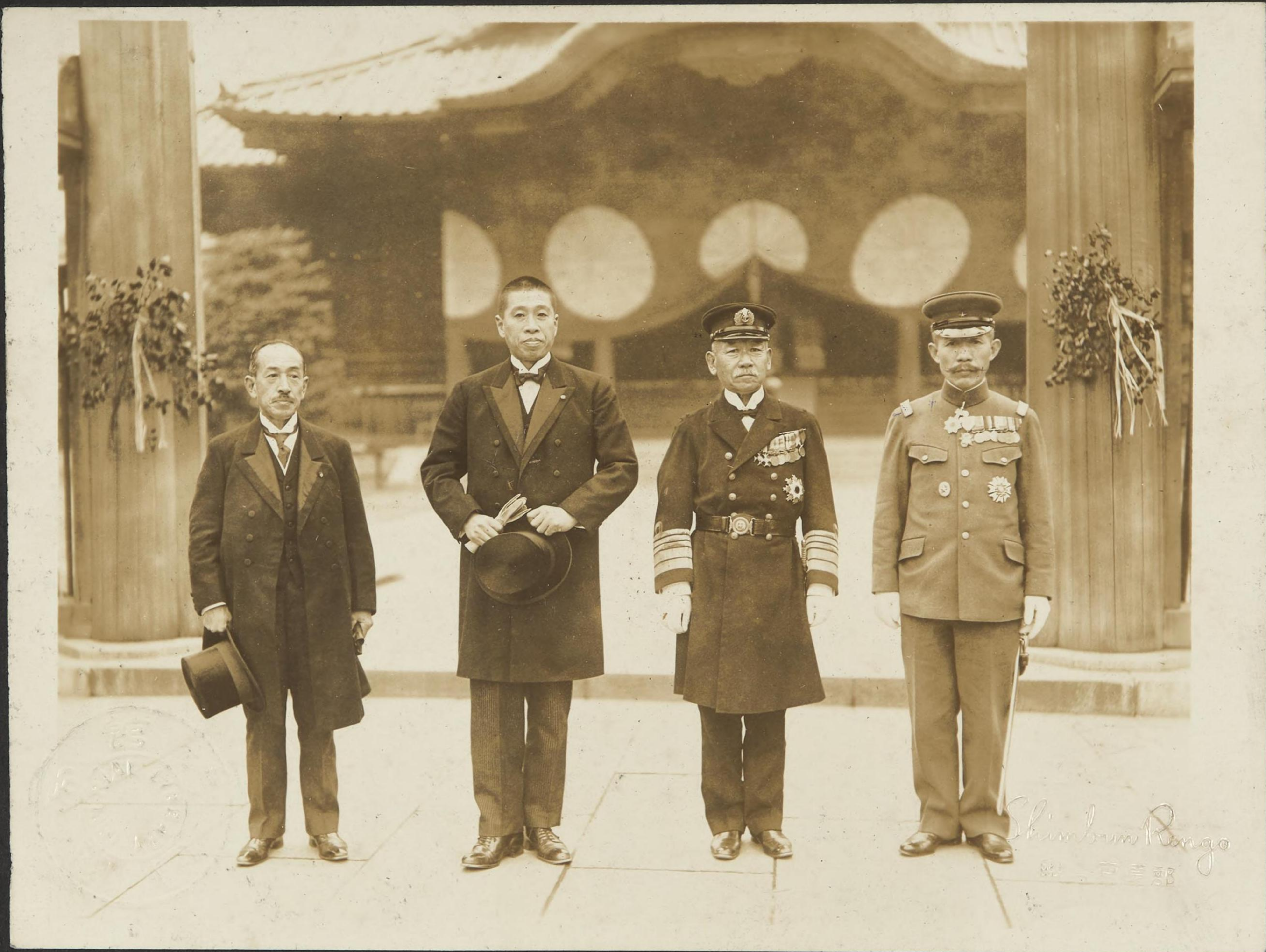
一、靖國神社の奉告祭に參列（向つて左から）
小山法相、永井拓相、岡田海相、
荒木陸相

雜
5



靖國神社の奉告祭に参列の諸相

雜
5



聯合

為眞

第一號

七年十一月十九日

◎聖上陸軍大學校行幸

一 參謀本部へも御立寄

陸軍大學校では廿九日天皇陛下の行幸を仰ぎ
閑院宮春仁王殿下を初め約四十期生四十
九名の卒業式を挙行、陛下には陸軍御通常禮
装にて午前九時十分宮城御出門、同二十五分
御着校御先着の名官、後方に拜謁を賜ひ式場
に臨御、終つて參謀本部にお立寄り各首腦部
に御陪食仰付られ同所御發御還幸遊ばされし
為眞は

一 行幸の聖上陛下

雜 5
52



聯合 寫眞 第二號 七年十一月廿九日

◎お茶の水高女五十年祭

一 東伏見大妃殿下台臨

お茶の水の女高師附屬高等女學校は明治十五年七月創立以來滿五十周年になつたので二十九日午前畏くも東伏見大妃殿下の台臨を仰ぎ小石川窪町の新築校舍^{新校舎}で盛大な記念祝賀會を開いた尙女高師及び附屬幼稚園も來月中にお茶の水から引越しする筈である

寫眞は

一 校長の式辭（中央は台臨の東伏見大妃宮
殿下）

雜 5
52



聯合 寫眞 第一號 七年十一月三十日

◎高松兩宮殿下

水上小學校にお成り

特殊教育につき深き御關心を有せられる高松
宮同妃兩殿下には今三十日午後一時二十分石
川別當を隨えさせられ京橋區月島の水上小学
校に成らせられ寺坂校長以下三教員同學校關
係者生徒五十餘名の出迎へを受けさせられ校
長以下の各功勞者に拜謁仰せつけられた上授
業中の各教室を順次御覽遊はされた

寫眞は

水上小學校へお成りの高松宮同妃兩殿下

5
52



聯合 寫眞 第二號 七年十一月卅日

◎全國に魁けて「自力更生」を
實踐に移す座談會

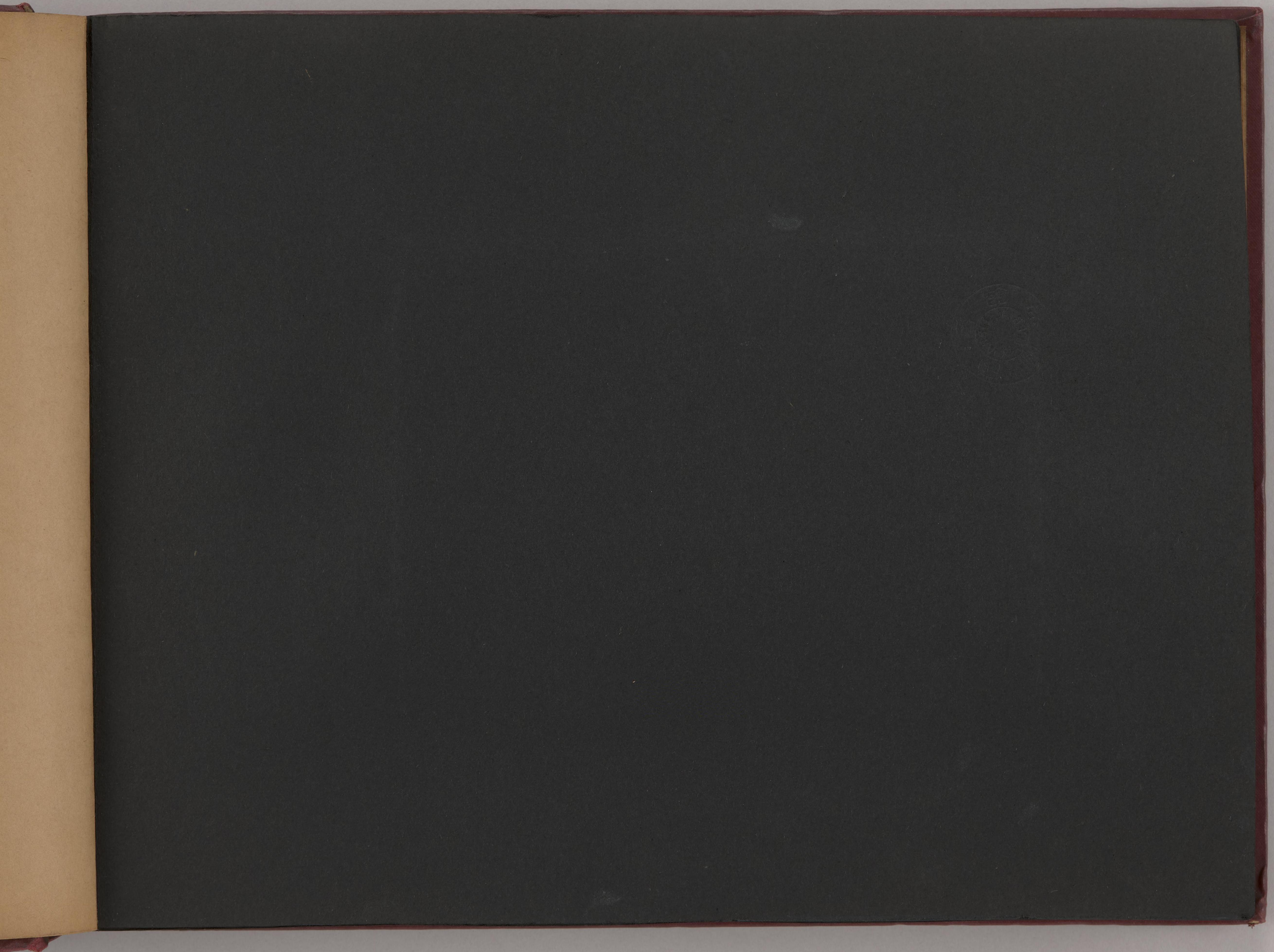
「齋藤首相も臨席」

齋藤内閣の一枚看板「自力更生」を全國に魁けて實踐に移すと云ふ嬉しい話を聞いた齋藤首相は此の自力更生運動の第一線を實地に視察す可く午前十一時二十二分新宿驛發の列車で青梅鐵道澤井驛在の三田村に赴いた、驛前の畑に囲まれた小さな村の公會堂の會場には「自力更生座談會々場」の看板が晩秋の陽に輝いて立てかけられてあり前途の光明を示すが様であつた

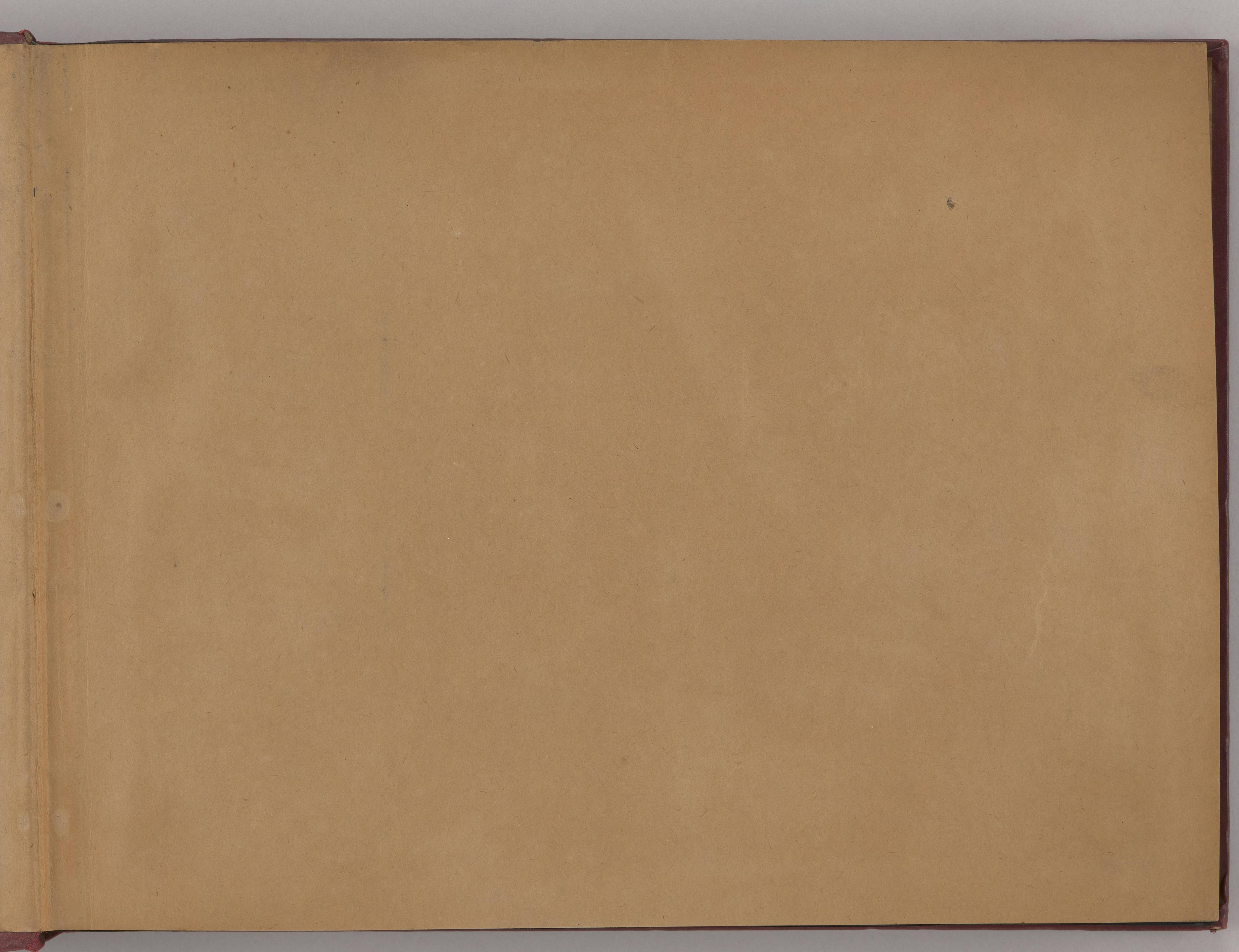
寫眞は 會場で「村の自力更生座談會」に出席の青年團、處女團員に挨拶する齋藤首相

雜 53
52

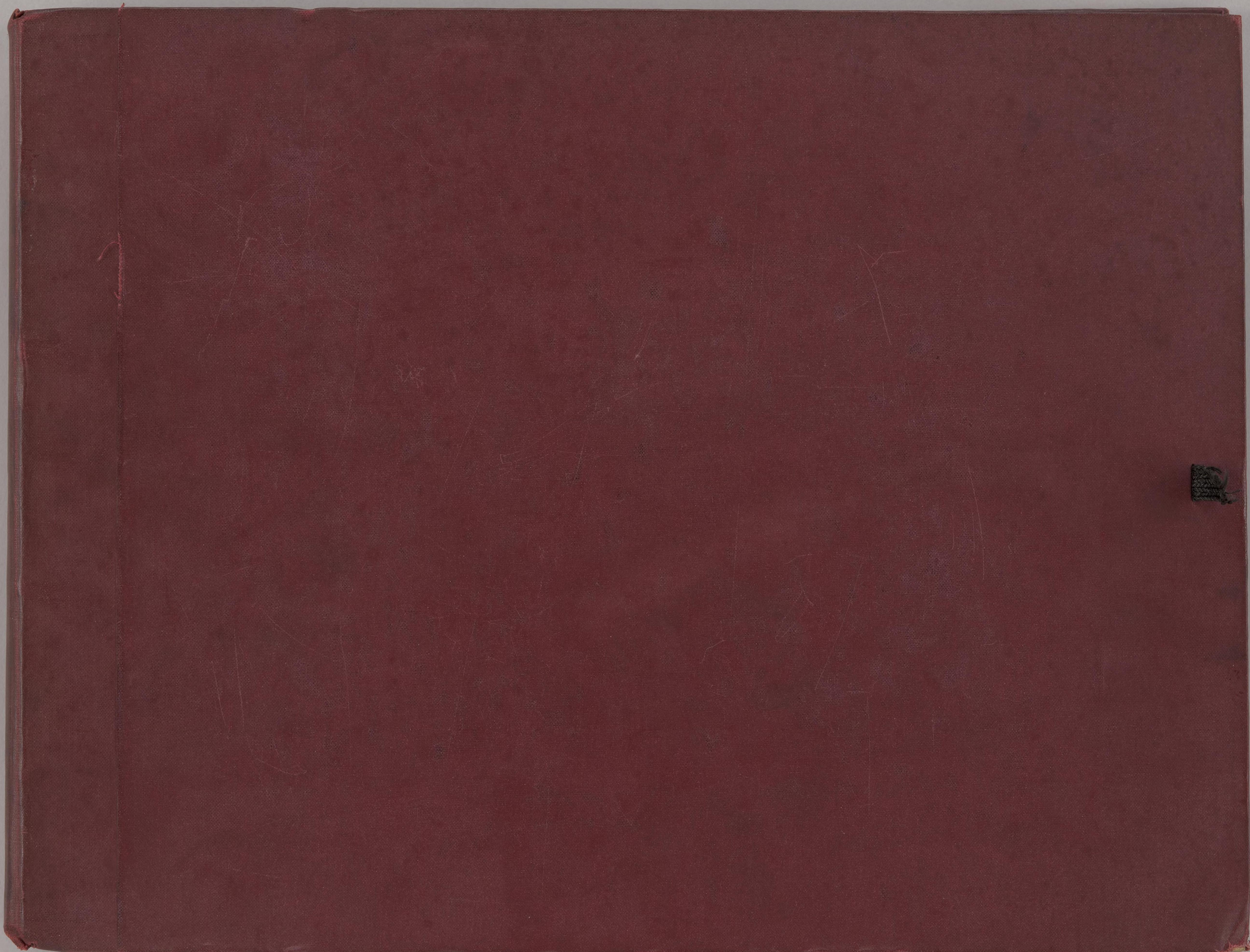




雜 5
52



雜 53
52

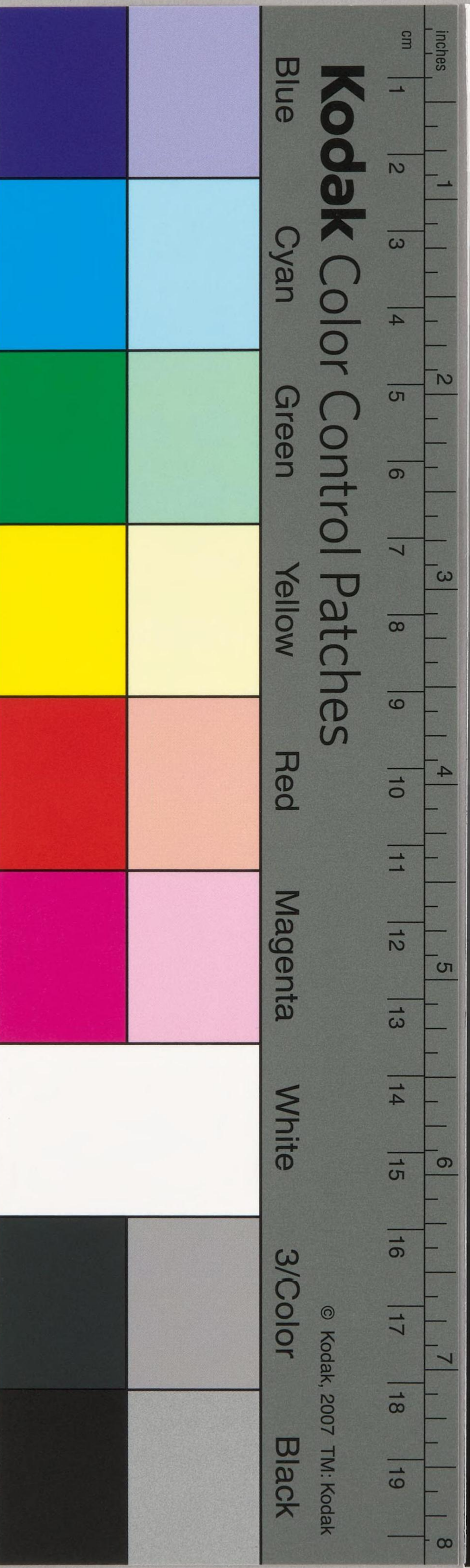




Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak